

宮城県気仙沼向洋高等学校

「みやぎ高校生フォーラム ― 私たちの志と地域貢献 ―」

人と「かかわる」

さまざまな人とのかかわりを通して、自己理解や他者理解を深化させる。
集団や組織の中で、よりよい人間関係を築く力やコミュニケーション能力、思いやりや社会性を養う。

本校では、全校生徒が各種委員会に属しており、年3回全校生徒と一緒に活動を行う『向洋TIME』という時間を設け、各委員会活動を行っています。『向洋TIME』以外の時間にも学校行事の運営・企画など、年間を通して活動をしています。生徒たちでアイデアを出し合い、日常の学校生活を向上発展させ、より豊かにしていくための活動を分担して行っています。



九条校舎閉校式では、全校生徒で清掃活動を行い、近隣住民の方のお宅を訪問して、今までお世話になったことへの感謝の気持ちを伝えました。



委員会活動では、環境福祉委員会と保健委員会合同で作品制作をしています。作品の企画から構成まで生徒たちで行い、学年の垣根を越えて一つの作品を作り上げることができました。今年の作品は、ステンドグラスです。



よりよい生き方を「もとめる」

学校で学ぶ知識と、社会や職業との関連を実感させ、インターンシップ等を通して、進路を現実的に考える。将来の社会人として、自らのあり方、生き方について主体的に探求し、そのために高校生活に精一杯取り組ませる。



2学年 インターンシップ

情報海洋科の情報電子類型（海洋類型は短期航海）と産業経済科が5日間、機械技術科は10日間のインターンシップを行いました。市内の各企業様をはじめとする多くの事業主様のご協力で、職業観・勤労観さらには社会奉仕の精神を養うことができ、将来の自分の生き方や在り方を考える貴重な機会となりました。

航海実習

情報海洋科海洋類型の2年生と専攻科漁業科の1年生、宮城水産高校専攻科の1年生が、45日間の航海実習を行いました。実習では、航海当直やハワイ沖西南海域でマグロ延縄漁実習を行いました。共同生活をする中で、相手を思いやる心や、気遣い、協調性など、船内生活を通して得られることがたくさんありました。



進路講話「先輩の足あと」

毎年2月下旬に、3年生から1、2年生に向けて進路講話を行っています。早い段階からしておいたほうがよい事や失敗談など、後輩へアドバイスをいただきました。「あと1年あるから大丈夫」と思っていた2年生が、身近な先輩から話を聞くことで良い刺激をうけ、進路について主体的に考える生徒が多くなります。

社会での役割を「はたす」

集団や組織の中で、自分の果たすべき役割と責任を認識させる。
自分の役割を果たすことによって、自己有用感を高め、社会の中でのより高い生き方について考える。

救命講習



気仙沼消防署より救急隊員の方を講師にお迎えし、救命講習会が行われました。講習内容は止血法・心肺蘇生法・AEDの取り扱い方など、災害や事故などの緊急事態に役立つ応急手当の方法などを身に付け、社会に貢献できる態度を育みました。

販売実習



「けせんぬまお菓子フェア2018」が海の市で開催されました。本校からは、産業経済科が参加し、実習で考案した『酒粕ミルクスイーツ』の販売を行いました。会計、試食、呼び込みなど協力して行い、たくさんの方々にご購入していただきました。

出前授業



機械技術科では市内の小中学校を訪問し、出前授業を行っています。パソコンを使った授業や、金属材料のヤスリによる手仕上げの授業を行いました。子どもたちに、簡単な言葉で分かりやすく教えるために、たくさん練習しました。

防災学習



避難訓練の他に、本校の教員による地震津波被害講話、地域の総合防災訓練への参加、他校との合同防災学習などを実施しています。震災を経験した私たちができることをしっかりと考え、行動していく力を身に付けていきます。